

公有財産規則等の一部を改正する規則をここに公布する。

平成 20 年 3 月 27 日

岩手県知事 達 増 拓 也

岩手県規則第 23 号

公有財産規則等の一部を改正する規則

(公有財産規則の一部改正)

第 1 条 公有財産規則 (昭和 39 年岩手県規則第 40 号) の一部を次のように改正する。

改正前				改正後					
(合議) 第 5 条 次の表の左欄に掲げる事項については、同表の右欄に定める区分に応じ、それぞれ同欄に定める者に合議しなければならない。ただし、地方公所長にあっては、この限りでない。				(合議) 第 5 条 次の表の左欄に掲げる事項については、同表の右欄に定める区分に応じ、それぞれ同欄に定める者に合議しなければならない。ただし、地方公所長にあっては、この限りでない。					
合議事項		合議区分		合議事項		合議区分			
		総務部長	管財課総括課長	管財課管理担当課長			総務部長	管財課総括課長	管財課管理担当課長
[略]				[略]					
8	財産の使用許可又は貸付け(使用許可若しくは貸付けの期間が1週間以内又は使用部分が極めて小部分の使用許可及び貸付けを除く。)		行政財産使用料条例(昭和39年岩手県条例第42号)第3条の規定又は財産の交換、譲渡及び貸付けに関する条例(昭和39年岩手県条例第31号)第4条の規定を適用しようとする場合	行政財産使用料条例第3条の規定及び財産の交換、譲渡及び貸付けに関する条例第4条の規定を適用しない場合	8	財産の使用許可、 <u>貸付け又はこれに対する私権の設定</u> (使用許可若しくは貸付けの期間が1週間以内又は使用部分が極めて小部分の使用許可及び貸付けを除く。)		行政財産使用料条例(昭和39年岩手県条例第42号)第3条の規定又は財産の交換、譲渡、 <u>貸付け等</u> に関する条例(昭和39年岩手県条例第31号)第4条若しくは <u>第5条</u> の規定を適用しようとする場合	行政財産使用料条例第3条の規定並びに財産の交換、譲渡、 <u>貸付け等</u> に関する条例第4条及び <u>第5条</u> の規定を適用しない場合
2	[略]			2	[略]				
備考 改正部分は、下線の部分である。									

(物品管理規則の一部改正)

第 2 条 物品管理規則 (昭和 42 年岩手県規則第 18 号) の一部を次のように改正する。

改正前		改正後	
(物品管理事務の総括)		(物品管理事務の総括)	
第 4 条	[略]	第 4 条	[略]
2・3	[略]	2・3	[略]

<p>4 物品について、財産の交換、譲渡及び貸付けに関する条例（昭和39年岩手県条例第31号）<u>第5条から第7条</u>までの規定を適用しようとするときは、管財課総括課長に合議しなければならない。</p> <p>（所管換え）</p> <p>第13条 [略]</p> <p>2 物品管理者（会計規則第2条第5号に規定する東京事務所等の長である物品管理者を除く。）は、処分を要する物品（職員に対する職務上必要な被服として貸与された被服、動物及び生産物を除く。）があるときは、各課等の長にあつては出納局長に、地方公所の長及び準地方公所の長にあつては広域振興局長又は地方振興局長に当該物品の所管換えをしなければならない。</p>	<p>4 物品について、財産の交換、譲渡、<u>貸付け等</u>に関する条例（昭和39年岩手県条例第31号）<u>第6条から第8条</u>までの規定を適用しようとするときは、管財課総括課長に合議しなければならない。</p> <p>（所管換え）</p> <p>第13条 [略]</p> <p>2 物品管理者（会計規則第2条第5号に規定する東京事務所等の長である物品管理者を除く。）は、処分を要する物品（職員に対する職務上必要な被服として貸与された被服、動物、<u>生産物その他物品管理者（各課等の長に限る。）が交換又は公益上の必要その他特別な理由に基づく譲渡の用に供するもの</u>を除く。）があるときは、各課等の長にあつては出納局長に、地方公所の長及び準地方公所の長にあつては広域振興局長又は地方振興局長に当該物品の所管換えをしなければならない。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

備考 改正部分は、下線の部分である。

（岩手県に所有権が帰属する埋蔵文化財の取扱いに関する規則の一部改正）

第3条 岩手県に所有権が帰属する埋蔵文化財の取扱いに関する規則（平成12年岩手県規則第154号）の一部を次のように改正する。

改正前	改正後
<p>（文化財の市町村等への譲与）</p> <p>第12条 生涯学習文化課総括課長は、財産の交換、譲渡及び貸付けに関する条例（昭和39年岩手県条例第31号）<u>第6条第1号</u>の規定に基づき文化財の譲与を受けようとする市町村等があるときは、文化財譲与申請書（様式第5号）を提出させなければならない。</p> <p>2 [略]</p> <p>様式第5号（第12条関係）</p> <p>[略]</p> <p>財産の交換、<u>譲与及び貸付け</u>に関する条例<u>第6条第1号</u>の規定に基づき、次のとおり、出土文化財の譲与を受けたいので、申請します。</p> <p>[略]</p>	<p>（文化財の市町村等への譲与）</p> <p>第12条 生涯学習文化課総括課長は、財産の交換、譲渡、<u>貸付け等</u>に関する条例（昭和39年岩手県条例第31号）<u>第7条第1号</u>の規定に基づき文化財の譲与を受けようとする市町村等があるときは、文化財譲与申請書（様式第5号）を提出させなければならない。</p> <p>2 [略]</p> <p>様式第5号（第12条関係）</p> <p>[略]</p> <p>財産の交換、<u>譲渡、貸付け等</u>に関する条例<u>第7条第1号</u>の規定に基づき、次のとおり、出土文化財の譲与を受けたいので、申請します。</p> <p>[略]</p>

備考 改正部分は、下線の部分である。

附 則

- この規則は、公布の日から施行する。
- この規則による改正後の岩手県に所有権が帰属する埋蔵文化財の取扱いに関する規則に定める様式第5号は、この規則の施行の日以後に提出する文化財譲与申請書について適用し、同日前に提出した文化財譲与申請書については、なお従前の例による。
- この規則による改正前の岩手県に所有権が帰属する埋蔵文化財の取扱いに関する規則に規定する様式による用紙は、当分の間、これを取り繕って使用することができる。